

消化器肝臓内科で診療を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 共通の診断基準の確立を目指す消化管腫瘍、炎症、機能性疾患の特殊光内視鏡像の後方視検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・消化器肝臓内科 講師 田原 智満

《研究の目的》 消化管の腫瘍、炎症、機能性疾患の内視鏡診断をよりよいものにするための研究を行います。具体的には過去に当院で診療を行った消化管の腫瘍、炎症、機能性疾患患者に施行された特殊光内視鏡検査の画像所見を後方視的に検討いたします。

《研究期間》 研究許可日～2026年3月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006年4月1日から2026年3月末日までの間に関西医科大学附属病院内視鏡センターで特殊光内視鏡を用いた内視鏡検査を施行した食道癌、食道炎、胃癌胃腺腫、胃炎、十二指腸腺腫、十二指腸癌、大腸腺腫、大腸癌、炎症性腸疾患、機能性胃腸症、感染性胃腸炎、アレルギー性消化管疾患の患者さん。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 1) 内視鏡写真にもとづく画像所見
- 2) 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、臨床病期（腫瘍の場合）、疾患活動性（炎症性疾患、機能性疾患の場合）
- 2) 血液所見（末梢血、生化学所見）
- 3) 病理学的所見（腫瘍の場合は組織異型度、深達度、炎症の場合は炎症の程度）
- 4) 併用薬剤
- 5) 予後
- 6) 内視鏡検査時間

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さ

んの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科・講師 氏名 田原智満
大阪府枚方市新町2丁目3番1号

Email: taharatm@hirakata.kmu.ac.jp

電話番号：072-804-0101（代表）（内線 PHS:56073）